

取材を希望する団体は
あすぴあまでお知らせください。
広報部会の部員が伺います！

ダンスパフォーマンス集団 迫ーHAKUー

市民まつりなどで迫力あるよさこいのダンスパフォーマンスを披露する「ダンスパフォーマンス集団 迫ーHAKUー」。小平・東村山を中心に活躍中です。6月30日夕方、東村山市民スポーツセンターで取材しました。

ちょうど、6/8～6/9、北海道札幌市で開催の「YOSAKOIソーラン祭り」に参加したばかり。6年連続で色々な賞を受賞されていて、今年「一次審査員賞」を頂いたそうです。

取材したのは、代表の^{おおせこ}大迫浩子さんは



じめ、高橋民樹さん、小野寺きよみさん、土橋弥生さん、小山忠勇さん。

転勤族だった大迫さんが、北海道でよさこいのグループに入って地域にとけこむことができたのがよさこいとの出会い。その後、東村山に転居し、数人の東村山/小平のメンバーと共に2008年に迫を立ち上げました。徐々にメンバーを増やしていき、今のグループに発展してきたとのこと。現在は、7歳から67歳まで年齢性別さまざまな40人が参加しています。

「一度参加してみたら、引き込まれてしまって」と小野寺さん。「足の先まで神経のゆきとどいた踊りを子どもたちに見せたいと思っているうちに、自分も踊るようになって」と小山さん。「全員が本気」というのが「迫」のポリシー(方針)だそうです。

年間の活動は、全国的な大会・まつりに参加したり、小・中学校での指導や福祉施設での披露と多彩。小さな活動も大切にする、地元還元していく、というこ

とが考えの基本にあるとのことでした。東日本大震災被災地支援も継続的に行っています。



今後に向けての思いは、よさこいを通じて、子ども・大人の成長の場として地域に貢献すること。小平での披露は、10月20日(日)の市民まつりです。迫の演舞はもちろん、新小平音頭や市内小学生らとチームの枠を越えた乱舞タイムは必見。(伊)

DATA

連絡先●090-3904-1672(小野寺)

メール●haku2008@live.jp

ホームページ●<https://aka4n53n7dewata0bako.wixsite.com/haku>

ツイッター●<https://twitter.com/haku2008>



みんなで作る音楽祭 in 小平

中央公民館でたくさんの市民が出演する音楽祭を5年続けている市民団体の人に話を聞きました。

「みんなで作る音楽祭 in 小平」が始まったのは5年前の2014年12月。55組の出演者と約2000人の来場者が集まって音楽を楽しみました。これを実施したのは「実行委員会の募集」に集まった市民約30人。

国が定める12月の「障害者週間」に開催することを決め、約3ヶ月の準備期間で、イベント名を決め、出演者を募集し、音響など裏方をしてくれる人を探し、障がい者のための手話通訳、文字情報(要約筆記)、点字や各ステージの司会・進行、受付などのボランティアを集めました。当時の実行委員長・細江卓朗さんは「たった3ヶ月でできたのは奇跡ですね。勢いというか、見えない力が働いてできたことです。」といます。

音楽祭はその後も毎年開催され、昨年は小平市教育委員会との共催になったこともあり、出演者が最高の79組に増えてステージを6つに増設。来場者も過去最高の約2400人に増えました。第三者から見ると、「凄い！」と絶賛したくなりますが、現在の実行委員長・三浦慶太さんは「なんとか無事に開催できたが、実行委員会のマンパワーの限界を超え

ていた。事故が起きないと限らないので、今年は改善したい。」といます。

今年は、出演者の応募が多数の場合は選考の可能性も含め、60組程度で開催したいそうです。「規模を大きくするのが目的ではないので、皆が無理のない範囲で活動して、安全に楽しく続けていきたい。」と、三浦さん。

今年の実行委員会は月1回会議を行っています。今年のイメージは「わ！」に決まったそうです。昨年は「森」でしたが、今年は「令和」の「和」から始まり、いろいろな文字が検討され、最後に「わ！」に決まったそうです。始まる前は期待でわくわくし、始まると「わあっ」という感動が次々と溢れる日にしたい、といます。

「みんなで作る音楽祭 in 小平」は、今年もたくさんの市民が集まり、楽しい時間が過ごせそうです。(北)

DATA

電話●042-341-0861(中央公民館)

メール●kodairaongakusai@gmail.com



comi café

子育て中のママが、この日だけは仲間とカフェを切り盛り。

いつもと少し違う様子に子どもたちは戸惑いながらも、ちょっと嬉しそうです。

元気村まつりや公民館で開催されるイベントなどで、美味しいコーヒーと笑顔が溢れる心地よいスペースを提供しているのがcomi café。

ご存知の方も多いのではないのでしょうか。



グループが生まれたきっかけは、6年前にあすぴあと子育てサポートきららが企画、運営した市民活動パワーアップ講座「コミュニティカフェ体験でなかまづくり」を受講したことからだそうです。全6回の講座では、自宅でフリマやガレージセールを開いたり、わらべうたグループなどで仲間づくりをしている先輩の話の聞いたり、すでに地域に根付いているコミュニティカフェを見学して、オーナーから直接話を聞いたりしながらイ

メージを膨らませ、最終的には自分たちでお店のアイデアを練り、実際にカフェを開店しました。

講座を通じて思いを共有できる仲間ができ、憧れのカフェも開店。そうしたら「カフェをやってもらえない？」と声がかかり、みんなでまた集まって準備をして開店する…。回を重ねるごとに仲間との絆も深まり、さらに地域の人たちに喜んでもらえていることが、自分たちにとってもかけがえのない喜びとなっていきました。

これからもカフェを通して地域と繋がること、美味しいコーヒーで寛いでもらうこと、それがメンバーみんなの変わらぬ願いです。今年も元気村まつりでカフェを開店する予定とか。ぜひぜひお立ち寄りを。(坂)

DATA

活動日●不定期

活動場所●元気村おがわ東、市内公民館など

活動内容●カフェの開催

*お問い合わせはあすぴあまで